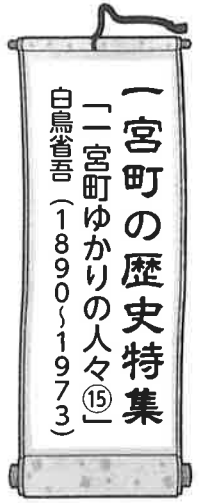


「広報文化財コラム」一宮の歴史特集」②③

令和元年 8 月号



白鳥省吾は明治23年(1890)、現在の宮城県栗原市で生まれまし
た。大正2年(1913)に早稲田
大学を卒業、旧制中学在学中より詩
を作り始めており、詩壇デビューは
大学3年生の時でした。大正3年に
詩集『世界の一人』を自費出版して
詩人として認められ、以後数多くの
詩集や民謡集、評論集、随筆集、童
話を発表し、民衆詩派の詩人として
活躍しました。

戦時中の昭和19年(1944)4
月、東浪見の妻の実家(現在の遍照
寺付近)へ疎開しました。
東浪見では、東浪見小学校の校歌
や「一宮音頭」の作詞など、多くの
学校の校歌や民謡などを手がけてい
ます。

戦後は日本農民文学会会長、日本
歌謡芸術協会会長などを歴任しま
す。昭和41年(1966)には和洋
女子大学教授に就任、日本を代表す

る歌人として、活躍の場を広げま
した。

昭和48年(1973)に食道がん
のため、83歳で死去。生前に作詞し
た校歌の数は日本全国で200曲を
越え、白鳥にまつわる文学碑は全国
各地で約50基所在します。

そのうちの 하나가、写真の石碑で
す。昭和45年(1970)に建立さ
れた、県指定無形民俗文化財・東浪
見甚句の石碑です。

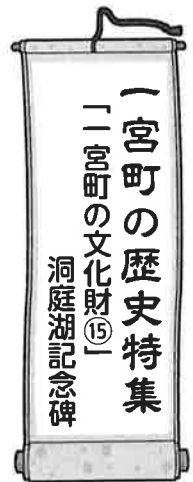
当時日本詩人連盟会長だった白鳥
が書したものです。



▲ 東浪見甚句碑 (東浪見 75 - 1 付近)

【問合せ】教育課 ☎(42) 1416

令和元年 9 月号



洞庭湖は江戸時代末期、一宮藩
主・加納久徴(詳細は「広報いちの
みや」平成30年2月号7ページを参
照)が灌漑用に造らせた湖で、広さ
は約6.8ヘクタール、名称は中国
の湖南省にある「洞庭湖」に因んだ
ものです。

記念碑は天保15年(1844)に
建立され、文面は若手県にある「多
賀城碑」(国重要文化財)にならった
もので、町の指定史跡となっていま
す。

碑文は左記のようなものです。

- 「洞庭 去大田喜 四里
- 去勝浦 七里
- 去長者町 二里
- 去東金街 五里
- 去藻原 二里
- 去長南 二里

此地享保十二年丙午從五位下藤原
朝臣久道始所受領地六世孫子從五位

藤原朝臣久徴宝□樹数株于天女以修
造焉 天保十五年三月十五日

工事は一宮藩の家臣・岩堀市兵衛
が設計し、一宮で代々名主をつとめ
た中村吉兵衛が完成させたものと伝
わります。なお、洞庭湖から一宮の
市街地へ流れる水路は岩堀の名前を
とって、「市兵衛堀」と呼ばれていま
す。

また、戦前・戦後にかけて洞庭湖
を含めた周辺は、桜の名所・観光地
として、栄え、観光客で賑わいまし
た。



▲ 洞庭湖の景観



▲ 洞庭湖記念碑

【問合せ】教育課 ☎(42) 1416